

平成27年12月17日

特急スーパーとがち1号の床下から 煙が発生した事象の原因と対策について

1. 発生概況

平成27年10月9日（金）9時42分頃、石勝線 トマム駅停車中の札幌 8時01分発 帯広行き 特急スーパーとがち1号の床下から煙が発生し、エンジンを止めたところ、煙の発生が止まりました。その後の現地調査で、燃料戻り管が折損していたことが判明しました。

ご乗車のお客様は、当該列車の車両点検に時間を要するため、後続列車にお乗換えいただきました。

【影響】 運休2本（部分運休を含む）、遅れ（最大91分）

2. 煙が発生した原因及び対策について

（1）原因について

煙が発生した原因は、燃料戻り管が折損したことにより燃料が漏れ、エンジンの熱により気化したためです。

燃料戻り管が折損した原因は、燃料戻り管の疲労限度に対して余裕がなかったため、機関振動の負荷により、燃料戻り管の溶接部に応力が集中し、疲労破断しました。

（2）対策について

①暫定対策

事象発生後、直ちに同形式車両（261系1000代34両（当該車両除く））の一斉点検を実施し、異常がないことを確認しましたが、暫定対策として次の2点を実施しています。

- ・交番検査時に燃料戻り管からの漏油有無を目視検査（恒久対策終了まで）
- ・要部検査及び全般検査時に燃料戻り管の磁粉探傷検査（傷、亀裂の検査）

②恒久対策

原因となった燃料戻り管の構造変更を恒久対策として、平成28年2月上旬までに、以下の2点の変更を実施します。

《構造変更》

- ・燃料戻り管の折損箇所の一体化（溶接のない構造）
- ・燃料戻り管の形状変更（長さの縮小）

《メンテナンス》

- ・要部検査及び全般検査時に燃料戻り管の磁粉探傷検査の恒久化